

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

贈らない 求めない 受け取らない

《虚礼等廃止の主な事項》

- 時候の挨拶状の送付
- 中元、歳暮等の贈答
- 慶事、弔事についての廃止事項
 - ① 祝儀、香典、供花の贈与
 - ② 祝電、弔電等の発送
- 病气等の見舞における金品等の贈与
- 新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
- 各種行事、各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等

商店街街路灯LED化助成



自由民主党議員 若林 しげお

に小規模化が進んだ学校があったことなどが挙げられる。

LED化助成における、区の上乗せ補助の内容は。

LEDランプの交換、工事などの経費を助成対象とし、対象額の8割を都が助成し、区は1・5割上乗せする。

今後、LED化しない3年後以降には街路灯の電気代補助が減額され、負担増となる。丁寧に周知すべきでは。

区商連との連携により、適切な周知に努めたい。

街路灯やアーケードの老朽化も負担となる。ポールの塗装や根巻きの補修など、維持補修経費や更新費用にも手厚い上乗せを検討しては。

商店街の実態などを勘案し、今後、調査研究したい。

中野区立小中学校再編計画

前期再編の問題点や区民の声などはどのようなものか。統合に不安を持つ児童や保護者がいたこと、統合まで



無所属

むとう 有子

平和事業

「日本非核宣言自治体協議会」の分担金6万円が予算計上されていないのはなぜか。

会からは脱退する。

脱会後は平和事業の後退だ。東アジア情勢に緊張が高まる

今こそ、宣言自治体が協力し積極的に参加するべきでは。分担金を支払うメリット



無所属

奥田 けんじ

投票用紙の再資源化

6月に行われる区長選挙の投票用紙は、有権者数の何割の枚数を用意するのか。

約7割で作成予定である。不要となった投票用紙はどのように処分しているのか。

プラスチック製品の原料料として再資源化している。



無所属

いながき じゅん子

若き起業家志望者への支援

中野区は若者が多く住むまちであり、起業家志望の若者を応援して中野らしさを打ち出し、若き起業家を輩出するまち、などといった夢のあるブランディングをしては。

若年者を含めた起業などの支援は、産業振興センターでも行う予定である。



無所属

林 まさみ

保険対象外療養費の周知

整形外科や接骨院、鍼灸院での施術で、利用者が肩こりや腰痛などに保険がきかないことを知らない場合が多い。

国民健康保険や後期高齢者医療制度の被保険者に対し、加入者に配布している冊子などを活用して周知に努めたい。



無所属

小宮山 たかし

文化芸術振興

中央線文化の入口としてサブカルチャーや文化芸術の振興を図り、四季の森公園をアーティスト自由区として開放するなど、若手芸術家・芸能人の支援を行うべきでは。

これまでも適切な文化振興を図ってきたが、今後も区を取り巻く環境の変化を踏ま

区民ワークショップ

区民の声を聴くために、各種計画の策定時にワークショップ形式を取り入れては。

意見交換会や対話集会などの区民参加手法の活用や、PDCAサイクルにより事業成果を評価しており、ワークショップ実施の考えはない。

待機児童関連データ



無所属

近藤 さえ子

待機児童対策では未就学児の社会的移動などのデータが重要だ。急激な出生増や社会的な人口動向を見込んで、次年度の対策に生かすべきでは。

一定の直近の動向も含む人口推計により保育需要の対応方針を作成したが、未就学人口動向などは注視したい。

待機児のカウント方法

自治体で統一されず、育休中の方を含むか否かで数が大きく変動する。区は状況は。

調査時点の4月1日現在では、待機児に含んでいる。国や都に23区の統一な基準の設定を求めるときには、現在、厚生労働省の定義で算出しており、国が基準を示せば、参考にしたい。

地域スポーツクラブ事業



無所属

石坂 わたる

区は町会や自治会などから成る団体を健康づくり・スポーツ推進団体に認定し、指定管理者候補にすることを条例で定めるとするがいかがか。

指定管理者の候補者として選定できるものとした。

指定管理業務には素人と思われる団体に、半年で2千

地域スポーツ施設への指定管理者の選定は、公平に、固定ではなく広く公募するよう条例で定めるべきでは。

透明性を確保して運営していききたい。

職員2000人体制



無所属

奥田 けんじ

区の職員削減率は、23区平均12・8%に比べて21%と他区より大きい。休職者の7割がメンタル系疾患と聞くが、急激な職員削減の影響では。

削減と直接関係はない。職員が区民のために働ける余裕や余力が必要では。

必要な人員は確保する。

自治基本条例



無所属

石坂 わたる

自ら多選自粛の努力規定を盛り込んだ条例を策定したにも関わらず、課題に対処できる幹部職員の育成ができたことや、ワンマンな舵取りは残念である。区民と約束した条例を守るべきでは。

区民の皆様は判断をしていただきたいと思う。

災害に備えた支援システム



無所属

石坂 わたる

緊急物資、要援護者支援、復旧関連などの情報連携システムの導入に向けた評価は。

課題もあるがシステム導入が必要であると考えている。

外国人の住宅探し支援は、不動産業者や家主の理解を得ながら支援を検討する。

外国人への観光案内

区役所での案内対応は、かなりやすく窓口手続きができるよう対応を進めていきたい。

外国人への観光案内は、外国人に人気のある観光資源の発掘、複数言語でのガイドマップ、歴史旧跡を含めた外国人にもわかりやすい表記での案内に努めていきたい。

東日本大震災追悼式に参列しました



平成26年3月11日、中野区議会を代表し、伊東しんじ議長が「東日本大震災3周年亘理町合同追悼式」に、やながわ妙子副議長が「東日本大震災岩沼市追悼式」にそれぞれ参列しました。

えつつ、振興を図っていく。